

京都新聞 R5.1.17

障害のある人の雇用促進を考えるシンポジウムを開催します。実習」をテーマに障害のある人の職場実習を積極的に受け入れる企業の幹部らの講演やパネルディスカッションを実施します。障害のある人が就労するうえで職場体験実習を行うことの必要性、重要性などを討議しながら、実習の必要性について理解を深めます。(無料)

障害のある人の就労支援シンポジウム

日時 2月19日(日) 午後1時30分～5時
会場 京都新聞文化ホール
(京都市中京区烏丸通裏川上ル)

内容 「農福連携でつながるネットワーク」障害特性を知ること広がる職場実習」

|| しんやさい代表取締役・石崎信也さん、同社社員・山部知歩さん、就労支援センターアステックむろまち所長・大石裕一郎さん▽パネルディスカッション「障害のある人の職場体験実習を考える」|| 京都府立向日が丘支援学校進路指導部長・木田聡さん、就労継続支援事業所あむりた施設長・白濱智美さん、プルデンシャル生命保険・ライフプランナー・芳賀久和さん、シオ

定員 100人
申し込み・問い合わせは
がき(〒604-8577 || 住所不要) かファクス(075-222-2515 || に郵便番号、住所、氏名、電話番号、Eメールアドレス、参加人数を明記し、京都新聞社会福祉事業団 就労支援シンポジウム係 || 075-241-6186 || へ。QRコードからEメールで申し込みすることもできます

主催 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
協力 CoCoネット会議
※新型コロナウイルスの感染状況により内容を変更する場合があります

